

農業に関する図画コンクールの作品展示

農業への興味・関心のきっかけに

12月5日から23日に、役場1階ロビーにて農業に関する図画コンクールの作品展示を行いました。町の農業振興を願い、次代を担う児童が応募した200点余りの作品は、どれも農業への関心を幅広く表現した素晴らしい作品でした。また、第48回らくのうこどもギャラリーで入賞した羽鳥隆成さん(用土小4年)の作品と茂木牧場・茂木城守さん(立原)の牛を描いた大塚虹七さん(折原小3年)の作品も併せて展示しました。



花輪敏男さんが受賞されました！

町村監査功労者表彰

10月26日の全国町村監査委員協議会において、町の代表監査委員の花輪敏男さん(金尾)が、町村監査功労者表彰を受賞されました。花輪さんは、平成26年10月から町の代表監査委員として、長年、町の監査にご尽力されています。こうした功績が認められ今回の受賞となりました。今回の受賞について、花輪さんは「今回、町村監査功労者表彰を受け、大変うれしく思います。これを励みに、これからも地方自治における監査の重要性を受け止めて、町の監査委員として研さんを重ねていきたいです」と話してくれました。



受賞おめでとうございます

公平委員会制度70周年記念 総務大臣表彰



藤山典彦さん



伴場力さん



逸見忠正さん

10月28日に、町の公平委員の藤山典彦さん(用土12)、伴場力さん(牟礼)、逸見忠正さん(上の町)が、公平委員会制度70周年記念総務大臣表彰を受賞されました。藤山さんは平成22年3月から令和4年3月まで、長年にわたり町の公平委員としてご尽力されました。また、伴場さんは平成22年4月から、逸見さんは平成24年3月から、町の公平委員として長年ご尽力いただいています。こうした功績が認められ今回の受賞となりました。受賞された皆さんは「今回、総務大臣表彰を受け大変光栄に思います。このような活動を続けることができたのも支えてくださった方々をはじめ、多くの皆様の協力があったることとあらためて感謝しています」と話してくれました。



寄居子ども博士が7人誕生！

第14回寄居子ども博士検定

11月26日に「第14回寄居子ども博士検定」が中央公民館で行われ、町内の小学4～6年生、31人が受検し、7人の博士が誕生しました。この検定は、寄居町の歴史や地理、政策、生活等、町のあらゆる分野に関する知識を問う検定です。見事2回目の博士認定となった鉢形小学校のト部晃一さんは「弟と一緒に博士になれてうれしいです。これからも寄居について知っていきたいです」と話してくれました。

初のフィールドワークを実施

今回は本事業初の試みとして、検定前に鉢形城歴史館・鉢形城公園でのフィールドワークを実施し、鉢形城のことを学ぶきっかけとなりました。子どもたちの指導に当たっていただいたボランティアガイドの保泉竈さん(立原)は「皆さんが真剣に話を聞き、質問もたくさん出て非常に有意義で楽しい時間でした」と話してくれました。

なお、今回の検定問題を町教育委員会ホームページに掲載していますので、皆さんもぜひ挑戦してみてください。

▶第14回子ども博士検定 博士認定者

氏名	得点	備考
ト部 晃一 (鉢形小6年)	100	2回目の認定
新井 陽斗 (寄居小5年)	100	初
ト部 暁 (鉢形小4年)	96	初
関谷 真菜 (寄居小6年)	96	初
金子汐織理 (男衾小5年)	90	初
清水 栞 (寄居小6年)	90	初
村田 八重 (鉢形小5年)	90	初

※90点以上で子ども博士認定



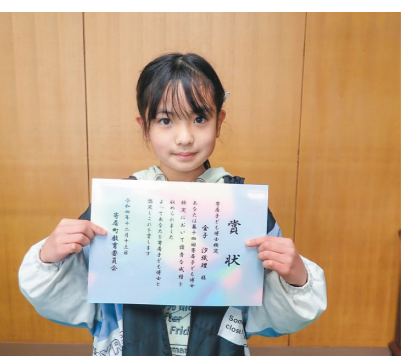
フィールドワークの様子(鉢形城歴史館)



寄居小学校 左から 清水栞さん、関谷真菜さん、新井陽斗さん



鉢形小学校 左から ト部暁さん、ト部晃一さん、村田八重さん



男衾小学校 金子汐織理さん